

事務事業名		市民提言受付事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	08 自立した行政経営の確立		事業期間	予算科目 会計 款 項 目 事業			
	施策名	34 市民参画と協働の推進						
	基本事業名	01 行政の透明性確保と市政への意見の反映						
根拠法令				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 H14 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入				
所属	部課名	企画政策部秘書広聴課						
	課長名	金野好伸						
	係名	広聴広報係	電話 0192-27-3111					
	担当者	高橋大介	内線 210					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 市内の公共施設等8箇所に市民提言箱を設置し、また、市ホームページ上に意見提言のコーナーを開設し、随時市民からの意見提言を受け付け、その意見・提言について、担当部署に反映状況等を照会し、提言者に回答するとともに、寄せられた意見・提言とその反映状況を、年3回広報大船渡及び市ホームページに掲載している。 また、各地区公民館や各種団体等との懇談会を実施している。					全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
					総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
						財源内訳	都道府県支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	0
						事業費計 (A)	0	
						人件費	正規職員従事人数	
							延べ業務時間	
							人件費計 (B)	0
						トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 市民提言箱、Eメールなどによる提言受付を行った。 (復興に係る地区懇談会などを開催)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 懇談会開催数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 提言箱による意見件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ Eメールによる意見件数</td> <td>件</td> </tr> </table>	名称	単位	ア 懇談会開催数	回	イ 提言箱による意見件数	件	ウ Eメールによる意見件数	件
		名称	単位							
		ア 懇談会開催数	回							
イ 提言箱による意見件数	件									
ウ Eメールによる意見件数	件									
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年同様の提言受付を行う。 (総合計画策定に係る地区懇談会を開催予定:企画政策部)										
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 人口	人	キ		ク	
名称	単位									
カ 人口	人									
キ										
ク										
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市政情報を理解していただく。 市政に対する意見・提言を受付、回答するとともに、広報等で公表する。 市民の意見・提言を市政に反映させる。市政への市民参加の促進。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 懇談会参加人数(延べ)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>シ 市民の意見が反映された事務事業(市民提言箱、Eメールなど)</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 懇談会参加人数(延べ)	人	シ 市民の意見が反映された事務事業(市民提言箱、Eメールなど)	件	ス	
名称	単位									
サ 懇談会参加人数(延べ)	人									
シ 市民の意見が反映された事務事業(市民提言箱、Eメールなど)	件									
ス										
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 行政の透明性の確保と市政への市民意見の反映促進										

(2) 総事業費・指標等の推移											
				年度 単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円							
			都道府県支出金	千 円							
			地方債	千 円							
			その他	千 円							
			一般財源	千 円	0	0	0	0	0	0	
			事業費計 (A)	千 円	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時 間	700	700	700	700	700	700		
		人件費計 (B)	千 円	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800		
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800		
⑤活動指標		ア	回	0	0	0	11	-	-		
		イ	件	33	21	20	48	48	48		
		ウ	件	20	18	10	36	36	36		
⑥対象指標		カ	人	39,376	39,117	38,871	-	38,938	-		
		キ									
		ク									
⑦成果指標		サ	人	0	0	0	1,000	-	-		
		シ	件	17	13	5	25	25	25		
		ス									

事務事業ID	0369	事務事業名	市民提言受付事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
市民が市政に参加することを推進するため。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
市民提言箱は、当初2箇所を10箇所に拡充した。(現在は、提言箱を設置している2施設が被災したため、8箇所)
Eメールによる提言も積極的に受け入れている。
地区ごとの市政懇談会や市内各種団体との懇談会を開催している。(現在は、復興に係る懇談会や各種説明会を中心に開催)

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
市民から、日常生活環境の改善をはじめとして、当市の将来のまちづくりに対する建設的な意見・提言も多数寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 市民の市政参加が推進されており、結びついている。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 市民の市政参加を推進されており、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 提言等をいただく対象を限定しておらず、また市政懇談会についても、各地区での開催や各種団体と懇談しており、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ より市政に対し、広範かつ活発な提言等がなされるよう検討を行なう必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 市民の市政への参加が減退する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 市民の市政への参加が減退する。 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 人件費のみで、事業費を要していない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 市民の市政への意見・提言を直接受け付け、それを市政に反映させる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 全市民を対象としており、偏りはない。

事務事業ID	0369	事務事業名	市民提言受付事業
--------	------	-------	----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) より市政に対し、広範かつ活発な提言等がなされるよう検討を行なう必要がある。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 市民提言箱及びEメールによる提言受付は、現状どおり受け付けする。制度の周知等を徹底する。 市政懇談会や各種団体との懇談会を計画的に開催する必要がある。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長		(氏 名)
2次評価者	秘書広聴課	金野好伸

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 適正な事務執行がなされている。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事業を執行する。広報等を利用して提言方法等を市民に周知し、この制度の活用と提言件数の増加に努める。市政懇談会や各種団体との懇談会を計画的に開催する。 (現在は、復興に係る各種懇談会・説明会等を優先している。)		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
